

企画・制作／
読売新聞社広告局

広告



清風中学校・高等学校
校長
平岡 宏一

(ひらおか こういち)1961年大阪市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。高野山大学大学院博士課程単位取得(密教学専攻)。2年間インドに修学してチベット仏教を学んだ。清風中学校・高等学校で社会科教諭、副校長を経て、2011年から現職。チベット仏教に関する著書多数。

人間力そのものが問われる時代

清風学園スペシャル対談
Vol.2
清風中学校・高等学校の平岡宏一校長と、教育を経済学的手法で「効果測定」する教育経済学者の中室牧子さんが対談。学力では測れない非認知能力の重要性と、それを伸ばすための取り組みについて語り合いました。

非認知能力の重要性と 学校の役割

平岡 これだけ変化の激しい時代になると、学力一辺倒ではなく絶対だめで、人間力そのものが問われます。勉強もクラブ活動もしっかりと、色々なことにチャレンジする総合的な子供たちを育てたいと考えています。

中室 学力はもちろん大切ですが、勉強のできる人が必ず世の中で活躍するわけではありませんよ。経済学はどういう人が成功しているのかひもとこうとしています。学力やIQで測れる認知能力は、親の社会階層や遺伝の影響を受けることが多く、子供自身はどうしようもない側面も少なくあります。一方、コミュニケーション能力や自制心、物事をやり抜く力といった非認知能力は、遺伝などの影響を受けにくく、年齢ど

もに伸ばしていくことなどがシカゴ大学のヘックマン教授の研究でわかっています。ただそれは、家の中でじっとしていて身につくものではなく、周りの人から教わるものです。その点でも学校という場やクラブ活動は極めて重要です。

平岡 今年ボート部がインターハイで優勝しましたが、皆中学から始めた子たちで、勉強もしっかりしている。見ているところ、中学1年の段階でクラブ活動と勉強の両立というきちんととした生活リズムをつかんだ子は最後までうまくいきますね。言うなれば自制心を持った子です。

セルフコントロール力が 人生に影響

中室 自制心も非常に大切な非認知能力です。大阪大学の池田新介教授がセルフコントロール力に着目して実施した調査では、夏休みに宿題をギリ

ギリにする子供は大人になってから禁煙やダイエット、貯金ができないという結果が出ています。就学期に自制心を持つ自分をコントロールすることができ、その後の人生に影響を与えるということです。

平岡 今の時代は誘惑がすごく多くて、スマートフォンでどんな情報も手に入っています。その中で子供たちが自分を律し、自分を保つていて力をつけさせなければいけません。仏教というのは自分の心のありようと向き合う宗教なので、放っておくとむちゃくちゃになってしまいます。自分を統御する力をつけるという教育は本校の根底にあるものです。その大きさは経験値としてわかっていますが、エビデンス(科学的根拠)を示していただけると背中を押してもらえた気がします。

中室 非認知能力というのはこれまで数値化されていましたので、保護者の方にとつては数字で見える偏差値の方が多い人生のなかでは重要でした。でも、非認知能力こそが長い人生のなかでは重要です。中学生・高校生のうちに伸びせば、その分リターンが高くなるということをぜひ知ってもらいたいですね。



慶應義塾大学 総合政策学部 准教授
中室 牧子

(なかむろ まきこ)1975年奈良県生まれ。1998年慶應義塾大学卒。米コロンビア大学で博士号を取得(Ph.D.)。日本銀行や世界銀行での実務経験を経て、2013年から現職。専門は教育を経済学的手法で分析する「教育経済学」。著書に「学力の経済学」ほか。

「自制心」や「やり抜く力」が大切

学校法人 清風学園 〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町12-16 TEL 06-6771-5757